

追悼行事を終えて

(9) 年 () 組 () 番 名前 ()

1. 追悼行事で講話を聞いて感想を書きましょう。

阪神淡路大震災は決して忘れてはいけないと思います。
その時に生きていなかったとしてもこれからの世代に受けついでいないといけないと思いました。たくさんの被害で、
くるしい日常を長時間過こしていたと改めて感じました。
また、この地震から災害関連死という病気などの人が「くすり」
のめずてなったということはがあつたと知りました。
ボランティアというものはとても被害にあっている人たちの役
に立っていると思いました。こうしの方は、自分がくるい支持
ちになったが多くの助けが来るようわがいながら書いたのを
知りましたと思いました。いつなにか起こるか分からない
世の中なので対策をしたり、日頃から後悔ないように
生活していきましたいです。今の生活に感謝したいです。知らない
私たちこそ歌い継いていき、語り継ぐこともできると思うので
していきたいです。また「災害の備え」にゴールはないというの
にとも共感しました。

2. 防災についてもっと学びたいことがあれば書きましょう。

もし地震が起きたらどのように避難するか家族とよく
相談しておきたいです。

追悼行事を終えて

(9)年()組()番 名前()

1. 追悼行事で講話を聞いて感想を書きましょう。

今まで毎年この1月17日の近くなるとこの阪神淡路大震災についての話をたくさんされてきました。その時、その場にいた人から話を聞くのは初めてです。ニュースなどでよく聞くけど、生では初めて聞きました。被災者の方のお話はとても心が痛かったです。一度、8年間の長期休業で、埼玉の祖父母の所へ帰省していた時、地震がおきました。今まで大きくはなかったのですが、私にとっては今まで地震を感じて来たことがなかったのに、とても大きな感じ怖かったです。その体験したゆえにも倍以上に大きなゆれで、時間は朝、明くの人が寝ている、または朝ごはんを作っている状態で阪神淡路大震災がおこりました。それに加え、火事もおこったため、本当につらかったらうと思います。避難生活もつらかったらうと思います。ある動画で「ただストレスがたまり、イライラして、空身もイライラしてしんどかった」と言っていました。プライベートも悪いので、大変でしょう。今でも能登半島でも自分の家に帰れる、仮設の家でくらししている人もいるでしょう。このお話を経験、出来事は絶対に忘れてはいけず、語りつぐべきものだと思います。今後おこるであろう南海トラフに向けて、いしでも被害を減らせるように、備えにゴールはないので、たくさん備えます。

2. 防災についてもっと学びたいことがあれば書きましょう。

備えには最低なにか必要なのかもしれないです。水だったり、仮設トイレだったり、お風呂前などは分かるけど、ゆれやわかりません。しかし備えるためにも、どのようなものがいいのかわかりたいです。

追悼行事を終えて

(9) 年 () 組 () 番 名前 ()

1. 追悼行事で講話を聞いて感想を書きましょう。

今日は、「忘れてはいけない」という言葉の本当の意味を知りました。今までは、物を忘れる、名前を忘れる。でも、その「忘れる」は、簡単に解決でき、すぐ思い出せられるものもたくさんある。でも、「震災」という物を語りつがなかったら、10年後には、震災の記憶が瞬時になくなり、50年後には、ほとんどの人が震災を忘れてしまうと思います。人間なので、いつかは忘れてしまうと思います。正直、自分たちの年齢の人は、地震を経験していません。想像はできますが、実際に経験していないので、想像よりはるかにおそろしいものだと思います。そのおそろしさを次世代の人に知ってもらい、少しでも地震・震災について、知り、伝

えていくことが忘れないうための行動だと思います。
2. 防災についてもっと学びたいことがあれば書きましょう。

追悼行事を終えて

(9) 年 () 組 () 番 名前 ()

1. 追悼行事で講話を聞いて感想を書きましょう。

阪神・淡路大震災の画像を見たときに、ぼくは、戦争のときのような画像にすごくびっくりした。町中が火に焼かれていて、ぼくが一度も体験したことのない画像だったからものすごくびっくりした。講話をきいて実際に阪神・淡路大震災を体験した人は、いつもどおりの生活ではなくて、すごく変わったことがわかりました。また、神戸新聞と京都新聞が協力して、どうにかして市民に今の状況を新聞で伝えるようにしていたのは、バに残った。新聞社の人たちも地震にあって、家族や友人がバ配りな人かでも、市民の人たちに情報を届けようとする懸命さが印象に残った。ぼくもみんなから人のために何ができるか考え、その人の気持ちに寄り添ってあげたい。そして、もし大きな地震がおきた場合は、ボランティア活動に積極的に参加して、みんなのバの支えになれたらいいなと思った。

2. 防災についてもっと学びたいことがあれば書きましょう。

追悼行事を終えて

()年()組()番 名前()

1. 追悼行事で講話を聞いて感想を書きましょう。

私は、講話を聞いてとても、胸が苦しくなりました。ニュースでの取材で「お父さんが、記者に「お父さんには「お父さんには」て」という言葉を知り、お父さんも、7月の取材として、とても胸が苦しくなりました。また、熊本地震のときの2ヶ月ニュースおと、被災者は、より不安になっていて、7月かたと思えます。昨日までは、普段どおりに生活していたので大地震によって、一気に生活が変わっていき、1ヶ月にわたると聞き、私は、早くに「お父さん」と思っていたけれど、どうして、7月と知り、地震は、家がくずれ倒れて、7月と「お父さん」二次災害で津波や、火事がおこり、7月と、救えていた命が、救えなかったりして、家族の人は、とてもつらかったと思えます。被害にあった神戸は、お父さんが「あれを運べるおじ」と歌い、7月と、勇気をつけていた人7月と知り、いつかお父さんが地震がおこるのかわかる7月と、自分にできることを考え行動していきたいです。

2. 防災についてもっと学びたいことがあれば書きましょう。

追悼行事を終えて

(9) 年 () 組 () 番 名前 ()

1. 追悼行事で講話を聞いて感想を書きましょう。

ラジオインタビューをした時に、「息子は、もう死んでしまった。この火災がなければ、今も生きとるかもしれん。おやじ早子行け!!」と言うインタビューを聞いて、震災とは、大切な物や人をうばう、本当に怖いものだ、この一つのお話しを聞いただけで伝わってきました。ですが、地震を私達で止めることは、できません。だからこそ、地震がおきる前・おきた後が大切だと思いました。しかし、能登半島地震がおきた時に、ボランティア文化が衰退してきているのではなにかという事があったり、とても悲しくなりました。今でも、困っている人は沢山います。だからこそ今、自分ができる最大限をしようと思いました。ですが、SNSでは、デマ情報が出まわっているようです。地震にあわれた方がその情報を見て、どれだけ怖い思いをするかわからず、わかっていない人達がいると知り、とても悔しかったです。デマ情報を流さないこれも、今の自分達ができる最大限のことだと思いました。地震により、沢山の人の命が亡くなってしまいました。私も、画面越しですが、能登半島地震を見てきました。この経験を怖れた。で、終わらすのではなく、この経験や思いを次の世代に受け継ぐこれが今の私達にできる最大限のことだとわかりました。

2. 防災についてもっと学びたいことがあれば書きましょう。

地震後の火災は、どうすれば無くなるのだろうか